

おーぶん

URL <http://www.yaic.gr.jp/>
i-mode <http://www.yaic.gr.jp/i/>

発行: 横浜AIDS市民活動センター
〒231-0015 横浜市中区尾上町3丁目39番地
尾上町ビル9F
TEL: 045-650-5421 / FAX: 045-650-5422
e-mail: info@yaic.gr.jp
平日: 13:00 ~ 20:00 / 土・日・祝: 10:00 ~ 17:00
(火曜日 夜間検査のため休館)
監修 横浜市健康福祉局



HIV検査目的の献血
日本赤十字社から、平成19年に献血された血液のうち102人が、HIV陽性だったということが発表されました。この数字は過去最多で、献血者10万人当たり約2人のHIV陽性率になります。HIV陽性の血液が増えた理由として、献血をHIV検査目的に利用している人が増えているのではないかとのことです。この発表を聞いて、「HIV検査目的に献血する人が増えていることが、なにか問題でも？」と思った人もいます。

実は、HIV検査目的に献血をすることは、とっても危険なんです。



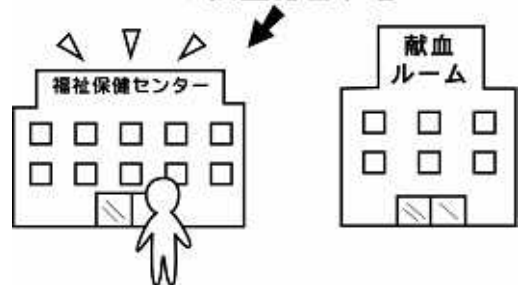
1. なぜ、HIV検査目的が危険なのか？とついうと、2004年以降から、HIV検出がより高い検査が導入され、輸血によるHIV感染は報告されていませんが、この検査でも、ごく感染初期の血液ではHIVの検出ができません。献血されたすべての血液は、安全な血液かどうか検査されますが、HIVに感染してから約43日間の血液では検査してもHIV陽性という結果がでず、すり抜けてしまいます。もし、HIV感染してすぐの人が献血に来た場合、献血された血液を検査してもHIV陽性と結果がでず、その血液を輸血などに提供し、その血液を使用した人がHIV感染してしまう危険性が起きてしまいます。



2. そんな危険をなくすため、日本赤十字社が、「HIV検査目的に献血はしないだね！」と呼びかけているのは、「HIVに感染しているかもしれない…」と心配な人は、献血したらダメだよ、ということなんです。

3. そしてもう一つ、日本赤十字社が、献血された血液がHIV陽性だった場合、本人には知らせないという方法をとっているのは、「HIV検査したい人は、献血に来て結果は分からないよ、だから福祉保健センター(保健所)に行ってHIV検査を受けてね」という理由で本人には結果はお知らせしないのです。

HIV検査はコチラ



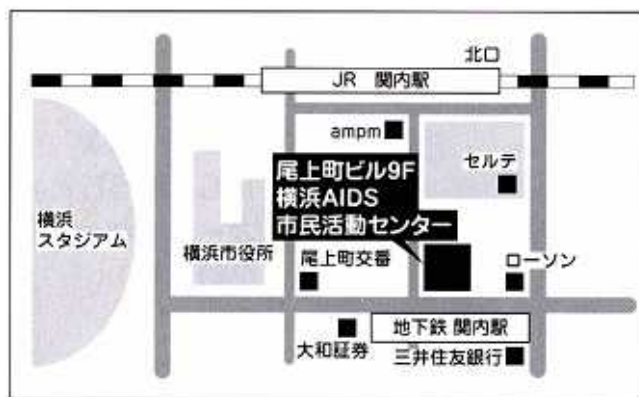
**HIV検査を受けたいと思ったら、かならず福祉保健センター(保健所)や病院で行っている、HIV検査に行ってください！
福祉保健センターでは無料・匿名で検査をしています。**

検査に行こう～横浜市・夜間検査～



HIV・エイズ検査に行ってみたいけど、どんな感じで検査してるんだろう？
と思っている方もいるのでは？今回のおーぷんは、横浜市で行っている夜間検査（毎週火曜日、18:00～19:30）の検査をご紹介します。

検査会場は、JR・関内駅から徒歩1分の場所にある“横浜AIDS市民活動センター”で実施しています。検査会場があるビルの入口には、HIV検査の案内表示されているので、ちょっと分かりにくいかもしれませんが、検査をやっていることが分かりにくいということは、HIV検査に来たということが他の人に分かりにくいように配慮しているからなんです。（場所が分からなければ、検査専用の電話にお問い合わせ下さい。TEL：045-201-8830（検査時間のみ））



横浜AIDS市民活動センターの地図

し
か
9
あ
階
は
ま
せ
ん
会
場



エレベータで9F階に上がります。降りるとすぐ検査会場の入口になります。入口を入るとすぐに、受付があります。まずは、受付にて検査の番号札と、申込書をもらいます。検査についてなにか質問があれば、お気軽に聞いてくださいね！

ここが待合スペース、手前にはソファがあります。

申込書は、記載スペースで、記入できます。申込書には、性別、年齢、希望の検査項目（HIV、クラミジア）を記入します。クラミジア検査だけでも受けられます。申込書の記入が済んだら、待合スペースにて、自分の番号札の番号が呼ばれるまで、待ちましょう。雑誌や書籍は自由に読めます。（なお、検査日には書籍の貸出はやっていません。）



採血コーナ

自分の番号が呼ばれたら、採血コーナーに行きます。ここで、看護師から、検査についての詳しい説明があります。なにか、分からない点があればじゃんじゃん聞いてください。採血が終わると、結果の日について説明があります。説明が終ると、この日はこれで終了。1週間後、また同じ場所、時間に結果を聞きにきます。（1週間後、都合が悪ければ、他の火曜日でもOKですよ）

1週間後、結果を聞きに行きます。

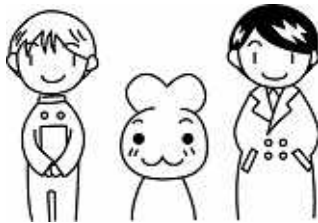
受付で番号札を取ります。番号が呼ばれるまで、待合スペースで待ちます。番号が呼ばれたら、医師のいる部屋に入ります。ここで、結果の説明がされ、結果が記載された書類が渡されます。



てラド
いイア
まバが
ずシあ
る。ー
はの
守で、
られ
れプ

もし、陽性（HIV感染している）でも...

陽性という結果がでてしまった場合、AIDSの発症を抑えるために、なるべく早く、専門の病院に行きましょう。結果と共に、医師からはHIVの専門病院の紹介があります。紹介している病院は、HIVの治療に関して実績のある病院なので安心してください。もちろん、紹介した病院以外でも自分で捜した病院でもかまいません。HIV治療は、早期発見、早期治療が一番大切なのです。



検査を受ける前の注意

横浜市で行っているHIV検査は、感染したとおもわれる日から、約3か月経過していないと正しい結果はでません。検査を受ける時は約3か月経過してから受けましょう。（3か月経過していないけど、不安ではない、検査をうけたいという方は、ご相談下さい。）HIV検査は地方自治体により、検査方法が異なるため、上記の期間と違うところもありますのでご注意ください。



夜間検査についてのお問い合わせ
はこちらへお願いします。
横浜市健康福祉局健康安全課
TEL: 045-671-2729

今回、横浜市で実施している夜間検査をご紹介します、HIV検査は全国の福祉保健センター（保健所）で受けることができます。もちろん、病院でも検査を受けることができますが、無料ではないのでご注意ください。
全国のHIV検査会場はこちらをご覧ください。
<http://www.hivkensa.com>

センターからのお知らせ

貸出書籍が増えました

新着書籍の一部をご紹介します！！

・書籍名 / 著者名

- ・13歳からの「恋とからだ」ノート / 早乙女智子
- ・子どもの性的発達論 入門 / 浅井 春夫
- ・エリートセックス / 加藤 鷹
- ・きをつけよう!がっこうのかえりみち / 北沢杏子
- ・日本に生きるということ / 川田龍平

センターのHPで貸出し書籍リストの検索ができます。

http://www.yaac.gr.jp/list/book_list.html

もっと知りたい性感染症のこと

毎週金曜日に発行しているメルマガ、「週間STD」。このメルマガは、「10秒で読める!」ためになるHIVや性感染症、性に関すること」を掲載して発行しています。ご興味のある方はぜひぜひ、メルマガにご登録下さい!!

メルマガの登録は、

ミニまぐ (<http://mini.mag2.com>) で!

カテゴリ 暮らし / 美容 介護 / 医療

週間 STD

☆新・教えておねえさん～尾上家編～☆

こんにちは！私の名前は桜木まち。横浜 AIDS 市民活動センターで事務局員をしています。エイズについて考えてくれるみんなを応援する施設です。中学生になったばかりの拓海くんと未来ちゃんはカラダの変化や、ココロの悩みなど、不安になることがたくさんあるみたい。このマンガでは拓海くん未来ちゃんの悩みに、まちなえさんが答えてくれます。さて、どんな質問が飛び出すでしょう？

このマンガは中学校の養護教諭の先生にご協力いただいております。
横浜市立今宿中学校 養護教諭 大津留 幸子 先生



“性に関する間違った情報・知識”

情報社会の今日、いろいろな情報があふれ正誤の区別がつけにくい現状があります。だからこそ！わからない時や疑問に思う時は、自分たちで調べたり、まわりの大人に聞き、より正しい知識を身につけていきましょう。